

スーパーなまず グー 外部機器との接続



DN-SH500J

本装置は、ご希望の動作条件を設定した状態で出荷しています。(設定確認シート (No.3) 参照)
設定した内容 (IPアドレス設定、震度設定、接点入出力、音声出力遅延設定など)は、お客様で
変更することはできません。変更をご希望の場合は弊社までご連絡ください。

緊急地震速報を受信できる状態でなければテスト配信できません。

本装置が通信するために

事前準備

- ・インターネット回線 (モバイルルーター利用の場合は弊社までお問い合わせください。)
- ・ルーター (ONU 一体型ルーターの場合は不要)
- ・プロバイダー契約

接続環境

プロトコル	Proxy対応	IPアドレス	セキュリティポート・ポリシー
Ipv4	SOCKS4・SOCKS5認証	自動IP・固定IP 選択可能	TCP:9001・9003 LAN ⇒ WAN開放 ドメイン名前解決 (DNS) 可能な環境

※緊急地震速報のサーバーアドレス情報が必要な場合は弊社までお問い合わせください。

起動・通信接続について

接続・通信に必要なもの

- ① LAN ケーブル カテゴリー5 同等以上のケーブル (本装置の設置場所までの距離が必要)
- ② AC100V コンセント (設置場所付近に必要)

使用しないでください。



① LAN コネクター (RJ-45)

LAN ケーブルでルーター・ハブなどと接続

※電源を入れる前に必ず LAN ケーブルを接続してください

② DC コネクター

付属の AC アダプターでコンセントと接続

STATUS ランプ緑

PWR ランプ赤



※起動に 30 分以上かかる場合があります



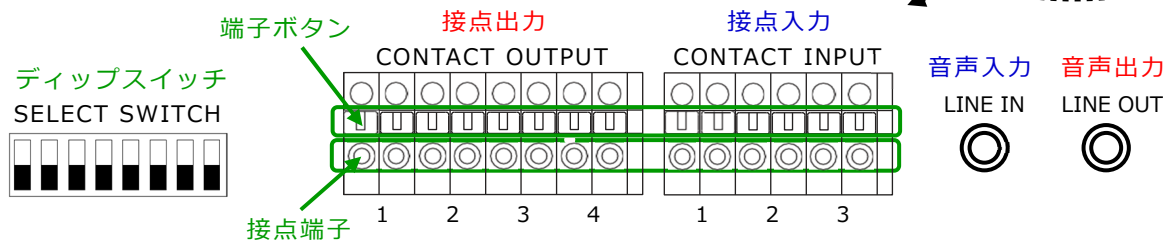
STATUS ランプ緑と PWR ランプ赤が点灯に変わると
緊急地震速報を受信できる状態になります。

STATUS ランプ緑と PWR ランプ赤が点灯に変わらない場合は以下を確認

- ・ネットワーク環境 (ルーター、LAN ケーブルなどの接続状態・設定内容など)
- ・セキュリティポート・ポリシー
- ・IP アドレス (同梱の申込書類 (No.1) を参照)

解決しない場合は弊社までご連絡ください。

入出力端子について



接点出力端子・接点入力端子はスクリューレスプッシュ式です。接続の際には電線の被覆を剥いて挿入してください。最後まで入らない場合は、端子ボタンを押さえながら挿入してください。

※無電圧ループ接点です。定格電圧 (38V) を超える電圧は与えないでください。故障の原因となります。

※接続可能電線は CPEV 等 0.5~1.2 mm 径程度 (単線推奨) です。電線被覆剥きしろは 8~9mm です。

接点の平行接続 (分配) について



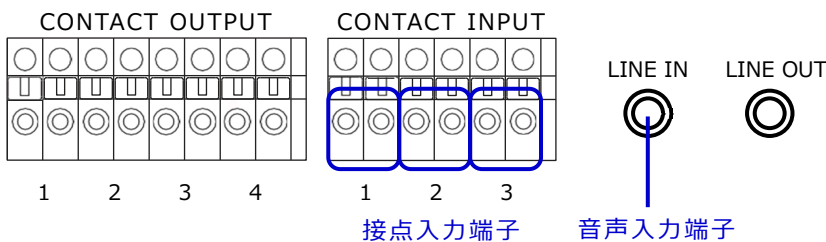
接点分配器

複数の外部機器に対して平行で接点出力をすると、本装置や外部機器の故障の原因となることがあります。電流逆流防止用のダイオードなどをご利用ください。また、接続した外部機器の電圧差が大きいと機器を壊すリスクもあるので十分ご注意ください。

※複数の外部機器に接続する場合には、接点分配器を利用することをお勧めします。

詳細は弊社までお問い合わせください。

接点入力・音声入力について



※取扱説明書では
接点入力端子 1/2/3 を
DI1/DI2/DI3 と表記
※取扱説明書は弊社 HP から
ダウンロードしてください。

接点入力

接点入力端子 (CONTACT INPUT 1/2/3) は、3 チャンネル 無電圧ループ A 接点入力です。外部機器からの入力信号を本装置に入力します。

震度計や外部機器との連動に利用します。※取扱説明書をご確認ください。

OPEN 時は 3.6V~4.0V の電圧が出ています。CLOSE 時の出力電圧は 5V、出力電流は 5mA です。

接続回路の抵抗は 50Ω 以下に収まるようにしてください。

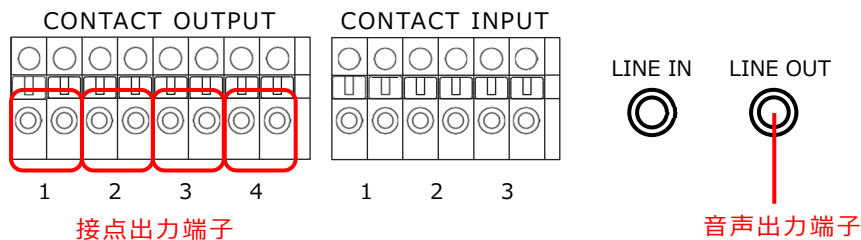
音声入力

音声入力端子 (LINE IN) は、外部機器からの音声信号を本装置に入力します。

放送設備の音声入力に空きがない場合などに利用します。※取扱説明書をご確認ください。

RCA モノラル、入力電圧は最大 1.2Vp-p、入力インピーダンスは 33KΩ 不平衡です。

接点出力・音声出力について



※取扱説明書では
接点出力端子 1/2/3/4 を
DO1/DO2/DO3/DO4 と表記
※取扱説明書は弊社 HP から
ダウンロードしてください。

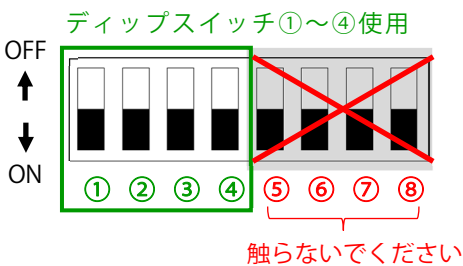
接点出力

接点出力端子（CONTACT OUTPUT 1/2/3/4）は、4 チャンネル 無電圧ループ出力です。
4 チャンネルとも、A 接点（初期値）、または B 接点のどちらを利用するか選択することができます。
誘導性負荷（モーターや機械式リレーなど）を直接接続する場合は、十分な逆起電力対策サージ吸収対策を講じてください。接点抵抗値は、OPEN 時は 600MΩ 以上、CLOSE 時は 0.7Ω 以下です。
[接点容量] 定格電圧：38V 最大電圧：60V 定格電流：1000mA 最大電流：1000mA

音声出力

音声出力端子（LINE OUT）は、本装置の内蔵音源や入力音声を放送設備などの外部機器に出力します。
RCA モノラル、出力電圧は最大 2.5Vp-p（+4.2dBs）、出力インピーダンスは 10KΩ 不平衡です。

A 接点・B 接点の切替方法 ※本装置の電源を OFF にして変更してください。



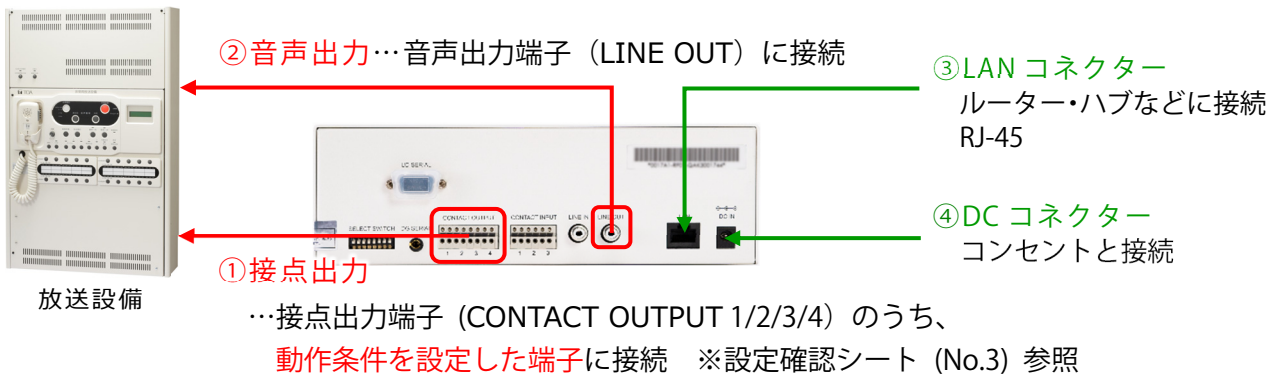
ディップスイッチ		ON	OFF
①	接点 1 の出力方式	A 接点	B 接点
②	接点 2 の出力方式	A 接点	B 接点
③	接点 3 の出力方式	A 接点	B 接点
④	接点 4 の出力方式	A 接点	B 接点

放送設備との接続

※接続完了後は必ずテスト配信で放送設備との連動確認を行ってください

事前準備

- ① 接点接続用ケーブル CPEV 等 0.5～1.2 mm径程度（単線推奨）電線被覆剥きしろは 8～9mm
- ② 音声ケーブル RCA-PIN 付音声シールドケーブルなど（放送アンプ側端子に合わせる）
- ③ LAN ケーブル カテゴリー5 同等以上のケーブル（本装置の設置場所までの距離が必要）
- ④ AC100V コンセント 設置場所付近に必要



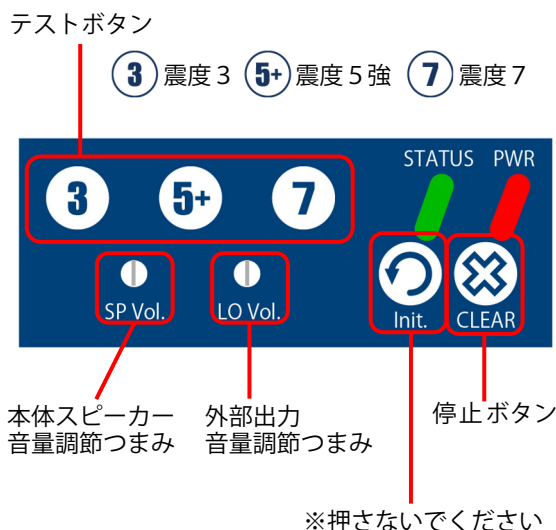
端子の動作条件を変更したい場合は、弊社までご連絡ください。

放送設備と連動確認

緊急地震速報を受信できる状態でなければテスト配信できません。STATUS ランプ^緑・PWR ランプ^赤点灯

本装置のボタン操作でテスト配信し、放送設備との連動を確認します。

制御信号が出力され、アナウンスが外部に出力されます。



本装置に設定した接点出力震度以上のボタンでなければ連動確認できません。

例：設定が震度4の場合、③(震度3)では本体からはアナウンスが流れますが、外部出力はしません。

テスト方法 テストボタンを約3秒長押し

アナウンス途中で停止する場合は「停止ボタン」2秒長押し

アナウンス内容 ⑤+ の場合

「♪NHK チャイム音♪ 動作確認テストです 震度5強 14秒後
動作確認テストです 震度5強 8.7.6.5.4.3.2.1
揺れが収まるまで身を守ってください……」

- **本体スピーカーの音量が小さい(大きい) 場合**
本体スピーカー音量調節つまみ (SP Vol.) で調整
- **外部出力の音量が小さい(大きい) 場合**
外部出力音量調節つまみ (LO Vol.) で調整

音量調節つまみについて

右に回すと音量が大きくなります。
回しすぎると破損の原因となりますので、
左右90度までにしてください。

※出荷時：  中間に設定

- **放送設備からの音声が入り切れる場合**
音声出力のディレー時間の調整(1～10秒)が必要です。
お客様で変更することはできませんので、弊社までご連絡ください。
※本体スピーカーからの音声も設定した時間だけ遅延します。
- **動作条件を変更したい場合**
設定確認シート(No.3)をご確認いただき、弊社までご連絡ください。

ご不明な点がございましたら弊社までお電話ください

問い合わせ窓口



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp/>

TEL 0742-53-7833

弊社営業日 平日 9:00～18:00

(土・日・祝日・夏季・年末年始を除く)